

# 創ろう、ミライ

金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 附属高等学校



附属の  
魅力

## 01・自由な校風!!

自由な夏服は他校にない附属高校の魅力の一つです。夏服期間中は決まった制服ではなく私服での登校が認められます。私服登校と言っても男女共に皆さんが中学校で着ている夏服と同じような服装で登校している人も結構多いです。

私服登校を経験したことない人も多いと思うので、僕からどこまで自由なのかということについて少しアドバイスをしたいと思います。どの程度自由なのかをはっきりいうことは難しい

ですが、「暑い夏場でも涼しく快適に過ごせて、派手すぎない服装」であれば良いと思います。涼しく快適に過ごせることが夏服自由の一番の利点です。派手すぎない服装というのは、学校に着ていくものであることを意識した上で個性を出した服装で良いと思います。

僕のアドバイスは参考程度にして、個性あふれる夏服ライフを全力で楽しんでください!

(白石 玲於奈)



附属の  
魅力

## 02・学校行事!!

### ●行事① 運動会

例年6月上旬には運動会が開催されます。最近では体育祭と称し陸上競技を行う高校が多いですが、本校は借り人競走や障害物競走、玉入れといった伝統的な運動会を行っています。「自主自律」を校風とする本校の運動会は驚くほど自由です。決まった練習時間もなければ、決まった応援もなく、どの競技に出るかも自由です。当日は各クラスでデザインしたTシャツを着るのですが、切ったり、部員で同じロゴを書いたり、リボンを付けたりと色々アレンジをする人もいます。本校における自由は仲間との協力や絆が必要とされる事が多く、良い思い出作りになると共に絆が更に深いものになります。本校の運動会の魅力は自由さ以外にもあります。3年生による演舞は応援団で迫力を感じ、3年生が



普段よりも格好良く見えます。寸劇もありますが、ここでは附属高校生にしか出来ないものだけ言っておきます。本校生徒になって実際に見て頂けたら、きっと納得して頂けると思います。

(古林 愛桜)



4月

●入学式  
●遠足



5月

6月

●運動会

7月

●スポーツ大会夏  
●歌の祭典  
●現地学習(1年)

8月

●夏休み

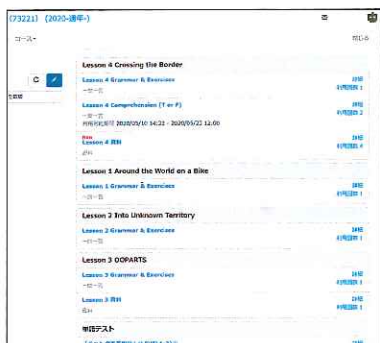
9月

●学校説明会

附属の  
魅力

## 03・充実したオンライン学習環境!!

附属高校では2年前にWi-Fiが整備されるなど、インターネット環境が整えられ、スマートフォンを使った調べ学習などが可能になりました。そのような自由な学習環境により、生徒の学びも深まっています。そのような中、新型コロナウイルスの影響により、全国で多くの学校が休校措置を取る中、附属も例外ではなく3か月ほど休校を余儀なくされました。休校中だけでなく通常授業再開後も、金沢大学が提供しているLMSコース、Slack、Zoomといったオンラインサービスを活用しています。LMSコースは各教科の先生が



オンラインで課題にアクセスできます!

アップロードしたアンケート、資料、テストなどを生徒が解くことができるのに加え、課題の提出や、それに対する先生からのコメントもチェックできます。Slackは主に先生と生徒の連絡網として用いられます。LINEとは異なるため、公私の区別もできます。学校からの連絡や、授業ごとの

連絡などが生徒全体に行き渡ります。また、授業や学習についての質問もできるため、自宅にいながらも学校での授業のような双方向性が保証されます。Zoomは主に全校集会などで利用しています。生徒総会では、体育館に全員で集まることができなくても全校で活発な議論を交わすことができます。

さらに、昨年度の開校記念祭では、それまでに紙のチケットに代わり、QRコードを使用した電子チケットシステムを初めて導入しました。これは有志の生徒が夏休みの時間を使い、開発しました。このシステムをこれからも維持していくことなどを目的として、情報局という生徒会の新たな組織が設置されました。生徒会の仕事の一部を担うことを通して、生徒が持つ技術を実践できる場が確保されています。プログラミングや情報関連技術をさらに学ぶこともでき、得意分野を伸ばすことができる環境が整えられています。このように、附属高校ではオンラインを活用することで、学習を効率化し、実りのある学びを得ることができます。

(氏家 直太郎)



直接先生に質問できます!

## 開校記念祭

祭は毎年10月に開かれる、附属高校の一大行事です。なく、部活ごとに模擬店を開くというのは大きな特徴。主による歌舞伎の公演が一番の見どころでもあり、迫りだけでなく、有志によるバンドなどの演奏や、ラジオ番組など、様々な企画が開かれています。さらに、ネットの影響によって一般の方の来校はありませんでした。保護者の方から小学生まで、たくさんの方々に来ています。在校生だけのイベントもあります。これもコロナ前は後夜祭となりましたが、それまでは中夜祭といふ1日目と2日目の間に開かれていました。生徒と先生が盛り上がる楽しいイベントが盛りだくさんです。はこれらの準備を、生徒が主体となり進めます。全校

の1人1人が仕事をもち、直前まで学校に残り作業を進める人もいます。やり遂げたあとの達成感はひときわ大きく、特別な青春的一幕となると思います！

(柳澤 文音)



歌舞伎は超本格的！舞台上で活躍する2年生は生徒の憧れの的に。歌舞伎という日本の伝統文化を身近に感じられる！



歌舞伎



模擬店

綺麗に飾り付けられた教室に並ぶクオリティーが高い商品達！楽しめること間違いなし！

大人気企画「有志発表会」！生徒だけでなく先生方が参加することも！必ず盛り上がる開校記念祭の目玉の一つ。クラスメイトの意外な一面が見られるかも…！



有志発表会

11月

12月

1月

2月

3月

●開校記念祭

●スポーツ大会秋



●冬休み

●修学旅行(2年)

●如月祭

●卒業式

## 修学旅行



附属高校では2年生の冬にシンガポールを訪れます。10月の記念祭と並び、青春の最高潮となる行事です。72回生はシンガポール市内の自由散策に加え、全員で国立博物館、植物園、動物園など多くの有名観光地を

また、マレーシアに行って現地の方々との交流を深める企画が盛り沢山でとても濃い旅を楽しみました。シンガポールに素晴らしい国で貴重な海外経験になります。そして、総合の時間で取り組んできたグローバル研究を現地の学生に向けて発表する場でもあります。プレゼンを作ったりプレゼンをしたりなど準備をたくさんします。外国人に向けて発表することはそれだけでも経験が豊かになり、そこで新しい気づきが得られるかもしれませ

## ●行事④ 如月祭



如月祭。それは、1年生が主体となって行う初の行事であり、腕が試されるものです。今年度は新型コロナウイルス感染症に伴い例年通りの開催が不可能となりましたが、それは新スタイルへの転換が容易であるということ

です。附属ならではの環境・人材を活かし、今回は初のYouTubeを媒体としたオンラインでの開催に踏み切りました。そして、オンラインを活用したメッセージビデオ・謎解き・思い出ムービーを開催、好評を得、1年生の力を存分に見せつけることが出来ました。

附属高校だからこそできることがあります。附属高校だからこそその喜びが待っています

附属高校では1年次から総合的な探究の時間で、自分自身で課題を見つけ、解決する力を養う活動を行なっています。私たちは、附属高校を食の面で幸せにしたいという目標を立て、学食のない附属高校に地域のレストランの弁当を導入するプロジェクトを2年以上続けてきました。実際に短期間弁当を販売し多くの生徒や先生方を買っていただくことができました。このように、高校生が学校や地域を巻き込んだ活動ができるのは附属高校の強みだと思います。また、地域に密着し貢献できる貴重な経験を積むこともできます。私たちは



コロナ禍で弁当販売を行い、実際に地域のレストランに貢献することができました。総合的な探究の時間は2年次で終わってしまいましたが、現在も継続的に弁当販売をするために後輩への引き継ぎを行なっています！

(繁実 梨央)



総合的な探究的な活動の時間の際、私たちは普段あまり手に取ることのない「加賀野菜」に目を向けた探究を行いました。加賀野菜の認知度、旬のものなどを多面的に調べ、実際に加賀野菜の直売所に足を運んだりしました。農家の方と直接電話でお話させていただく機会もあり、生の声や現状を聞くことができ、研究に活かすことができたと感じます。

このような様々な調査の後、私たちは「加賀ベジ〜ファーマーズマーケットを通して加賀野菜を広める〜」という、自ら加賀野菜を販売する活動を行いました。普段は加賀野菜をあまり買わない方に、一度でも良いので手に取ってもらいたいという考えから行動に移した結果です。実際に、「加賀野菜ってこんなものもあるんだねえ。」「加賀野菜の調理法ってどんなのがあるの?」と積極的に知ろうとしてくださるお客さんも多く、この活動を通して私たちの目標は達成できたと思います。

総合的な探究的な活動の時間ではこのように、地域課題や日頃の小さな不満を自分たちで率先して見つけ、解決のための行動に移すということ



をしています。上手くいかないこと、論理的に説明できない事を、どうするかと考えるのがこの時間の醍醐味だと思います。研究してみたいテーマがある!と言う人はぜひぜひ附属高校にて積極的に活動に参加してください! (中村 和奏)

## 生徒会からのメッセージ



皆さんは、附属高校にどのようなイメージを持っているでしょうか?公立中学校出身である私が附属高校への進学を決めた際、周りから言われたのは「勉強しかなない高校」「勉強しできない高校」です。また、どのような高校が全く知らない人もいました。これは、本当に勿体ないことでは

ないでしょうか?私は、附属高校は人生を変えるきっかけとなる、かけがいのない経験ができる高校だと考えています。

ここまで読んで下さった皆さんは、もうお分かりだと思いますが、附属高校の最大の魅力は勉強ではありません。自由な校風からできる「勉強+α」の活動です。これは、校外での活動をサ

ポートするschola活動だけでなく、自由だからこそ、時間を上手く使えば自分の本当にしたいことに多くの時間を使えるということでもあります。

しかし、中学生である今、やりたいことが特に決まっていなくても多いのではないのでしょうか?自分には難しいとは決めつけていませんか?附属高校には、高い理想、志を持つ生徒が多く集まっています。よって今は特にしたいことがなくとも、先輩や同級生に刺激されることで、自分の方向性を見つけることもできるはずですよ。

このような経験は高校を卒業した際に大きな財産となります。皆さんは、何のために勉強していますか?受験のため、と割り切ることは簡単ですが、本当にそれだけで終わってもいいのでしょうか?今は具体的には思いつかなくても、何か世界を、または未来を変える大きなことを学んでみたいと思いませんか?附属高校生徒一同、貴方の入学を心待ちにしております。(石橋 愛海)

## 学校住所および地図



交通手段: JR金沢駅から北鉄バス、香林坊経由金大附属学校前・自衛隊前行き



金大附属高校  
公式マスコットキャラクター  
「ふぞっくん」

金沢大学附属高校  
生徒会公式HPは  
こちら!



金沢大学人間社会学域 学校教育学類 附属高等学校

〒921-8105 石川県金沢市平和町1-1-15  
TEL.076-226-2154 FAX.076-226-2150  
Email:Kd-fuzokuhs@ml.kanazawa-u.ac.jp  
http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/kfshs/

### ●A-lympiad

日本「数学」A-lympiadと銘打ってはいるものの、そこでは微分積分だの複素数だの高度な知識が求められるのではありません。求められているのは「数学的思考」や「実社会の課題へのアプローチ」なのです。如何にも現代と言ったところですね。だから数学の得意不得意はあまり関係の無い、文系でも十分力を出せるコンテストとなっています。様々なスキルを持った仲間と協力をして、持ち込み自由な電子機器を駆使して、優秀な成績、ひいては国際大会という名のオランダ遠征を目指す。それが「日本数学A-lympiad」なのです。

(加賀谷 健太郎)



### ●inochi 学生プロジェクト



inochi Gakusei Innovator's Program KANAZAWAは、5ヶ月間に渡り、2~4人から成る中高・高専生のチームがヘルスケア課題解決のプランを創出・実行し競い合うプログラムです。昨年度は「高齢者の生活をより生き生きとしたものにせよ」というテーマの下、実際に高齢者の方にヒアリングをし、大学生を交えて話し合いを重ねました。このプログラムの良いところは、高校生の段階から、有名な先生のお話を聞けたり、修了時に自然と課題解決のプロセスが身に付いたりするところです。ここで得たものは、普段の探究的な学習や日々の生活に応用できるため、とても意義があります。是非このプログラムに挑戦して、未来のinochiを守って下さい!

(大木 桃花)

### ●模擬裁判

高校生模擬裁判選手権は、刑事手続きの意味や刑事裁判の原則を理解することを目的とした大会で、参加各校がそれぞれ検察チーム・弁護チームに分かれて模擬裁判を行います。そのために大会までの約2ヶ月間、弁護士や検察官の先生、参加メンバーとともに入念に準備を行なわなければなりません。昨年度は、6月中旬頃から法律実務家の先生を交えた勉強会が月に2、3回行われ、本番の1ヶ月ほど前から各チームで本番使用する資料作りに取り組みました。よりよい論告になるよう、分からない点があれば先生やメンバーと共に疑問を解決しながら活動を進め、裁判に関することだけでなく、誘導の仕方、議論の進め方など多くのことを学ぶことができました。

(酒造 ひより)



## 74 回生からの



附属高校の魅力は、多様性にあります。生徒会役員を2期経験し、先輩や同級生、先生方と交流する中で私はそう確信しました。数学オリンピックに挑戦

する同級生、開校記念祭の為にQRコードチケットシステムを開発してしまう先輩、1年時から平気で東大の問題を扱う漢文の先生、それぞれが信念を持って、生き生きと活動しています。生徒数は約360名と少ないながらも、多彩さにかけては県下一、いや、北陸一だと思っています。附高の豊かな人材が織りなす刺激的な高校生活を送ってみませんか?

(岡田 拓弥)



私はこの附属高校の体験入学で心を奪われ、強く志望するようになりました。この学校で日々を過ごしていて、勉強以外にも外出やスマ

ホ・夏服など様々なことが自由であるという面白さをとても感じています。一般の中学校出身だったため不安もありましたが、多くの友達や温かい先生方に恵まれて、勉強と両立しながら大好きなバレエに青春を捧げることもできています。皆さんも私たちとともに自由闊達な附属高校で楽しい高校生活を謳歌させませんか?

(勝原 佳音)



附属高校に入学して良かったことは、個性的な先生や友達に出会えたことです。また課題が少ないので自分のしたい勉強が出来る所もい

い所だと思います。僕は外部生で最初は少し附属高校に恐怖心がありました。しかし入学してみてそのイメージが180度変わりました。皆、様々なことに興味があるので、自分の視野が広がり、自分を高めることが出来ます。附属高校に入学して自分を高めてみませんか?

(寺井 誠人)

## ●トビタテ！留学JAPAN

高校生になったら、海外留学をしてみたいと考えている方も多いのではないのでしょうか。私もそのような一人でした。漠然と留学への憧れを抱きつつも、行動に移せずにいましたが、実際に留学に行った先輩に刺激を受け、挑戦する事を決めました。私が利用したトビタテ留学JAPANというプロジェクトは、自分で留学計画を作成し、審査を経て選ばれたトビタテ生に、返済不要の奨学金が付与されます。私は、高校生のうちに自分の目で世界を見て吸収し、価値観が大きく変わったと思います。附属高校には、やりたいことを十分にやれる条件が整っています。刺激的な仲間に出会って、自分の殻を破って挑戦して欲しいと思います。

(安田 真阿子)



## ●エコノミクス甲子園



「金融」や「経済」は難しいイメージがありますが、我々にとって身近な存在であることには間違いありません。それらをクイズを通して学ぶことができるのがエコノミクス甲子園です。

エコノミクス甲子園は簡単に言うと「経済に関するクイズ大会」です。地方大会・全国大会を通して多くの高校生と交流できることはとてもいい経験になります。経済に詳しい人はもちろん、全く知らない人でも楽しむことができるのがエコノミクス甲子園の魅力です。

エントリーすると全員に事前教材が届き、それを勉強しておけば誰でも全国大会に行けるチャンスがあります。みなさんもエコノミクス甲子園に参加して、楽しみながら経済について学びましょう！

(森 溪)

## ●模擬国連

模擬国連とは、高校生が各国の大使になりきり、実際の国連会議の形で、直面している世界問題について議会討論をするものです。私が模擬国連に参加して本当に良かったと思うのは、一緒に議論した仲間たちの存在です。とにかくクリエイティブで自信に満ち溢れていて圧倒されましたし、沢山の刺激をもらいました。今、当時のことを思い出しただけでもすごクワクワします！私自身、興味本位で参加しましたが、想像もつかないほどの楽しさと学びがありました！

模擬国連に参加したことのない皆さんへ。とりあえずやってみてほしい！やってみないと気づかないことだらけです！初めてのことは怖いですが、でも自分の中にある好奇心を大切に一步を踏み出してみてください！

(向井 桃愛)



## メッセーシ



附属高校といえば勉強。こう思う人は少なくないでしょう。しかし実際は自由活発な雰囲気の中、SCHOLA活動・部活動・行事・探求

活動など様々なことに挑戦できます。また、少人数である強みを活かして、多くの仲間と絆を深め、濃密な日々を過ごすこともできるでしょう。それは青春と呼ぶに相応しいものではないのでしょうか？附属高校でしか味わえない3年間が待っています。共に青春を謳歌しましょう！

(杉本 朋加)



僕は、附属高校の環境にとっても驚きました。休み時間は騒がしくても、授業になると誰も人の勉強を邪魔しません。そのような環境だから

こそ、自分も頑張ろうという気持ちになれます。このような環境は簡単には見つかりません。僕は外部生でもあるので、学習面でみんなに追いつけるか不安でしたが、面白い仲間や先生方が助けてくれるので高校生活を楽めています。この学校に来ることができて本当に良かったです。

(深村 宗慈)



私は附属高校のおかげで学校生活が充実していると自信を持って言えるようになりました。私は一般の中学校出身で、同級生もおらず、不

安がいっぱいでしたが、面白くて素敵な人が多かったこの学校のおかげですぐに友達が沢山できました。行事はとことん楽しみ、学習面もしっかり取り組む、メリハリのついた生活がとても楽しいです。そんな仲間に出会ってできて附属に来てよかったと思います。皆さんもこの附属高校で素敵な仲間と充実した高校生活を送りませんか？

(大浦 和恋)